

こんなことができます!

農業者自らが
実践できる
水管理システムを
提案します

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興
食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



夢

福島から日本の次世代水管理システムを創る

農学系教育研究組織設置準備室

申 文 浩

SHIN Moono

講師 博士（生物資源工学）

研究室 URL

<https://researchmap.jp/read0155552/>

専門分野

農業土木学（水資源利用学）
水管理システムに関する調査研究

特許情報、著書、論文

申ら（2018）被災地の農業用水の安全・安心へ向けた ICT 活用 の 取 組 み ， 農 業 農 村 学 会 誌 ，
Shin et al. (2015) Dynamic Analysis of Radioactive Cesium in Decontaminated Paddy Fields, J Water Environ Technol.

目標⑤ 次世代水管理システムの知見

学術的検討

目標④
政府の支援・公的管理

全国的な課題

被災地の特別条件

営農再開

目標③
土地改良区の運営管理

目標②
圃場管理・水管理

目標① 営農再開地域の現状



震災後、福島県の農業農村は担い手不足、耕地放棄地の増加などの全国的な課題が加速しており、日本の将来の姿でもあると言えます。少ない帰還者による営農再開が成功するためには、省力的なほ場管理、水管理システムの再構築が課題であり、福島的事例は日本の次世代水管理システムの一つのモデルになるかと思われます。土地改良区を中心とした日本の水管理システムは、世界の援助機関から評価され、発展途上国の参加型灌漑管理(Participatory Irrigation Management) のモデルとなっています。

福島的事例から、農業者自らが実践できるほ場・水管理システムの知見の体系化を図り、地域づくりに貢献したいと思えます。

想定するパートナー

国、自治体、土地改良区、コンサルタント

具体的な連携、事業化のイメージ

現地調査に基づく水管理システムに関する提言等

これまでの取組事例

営農再開が期待される作付け制限地域を中心に農業用水中の放射性セシウムのモニタリングを実施。水稻試験栽培を通じて用水中の放射性セシウムの動態解明や玄米への影響分析。ICTを活用した用水中の放射性物質の見える化技術の開発。営農再開時の水管理システムの再構築に関する提言。

